

この冬、仙台で 天文学者 になってみませんか

開催期間 2017. 12/23^日 ~ 29^金

東北大学・宮城教育大学の教員・学生のサポートのもと、あなた自身で天文学者と同じく「研究テーマを決め、天体観測とデータ解析を行い、結果をまとめ聴衆の前で成果を解りやすく発表する」という研究活動を体験してもらいます。
天体観測は、天文学者が本格的な研究に使っている望遠鏡と同じ、中口径望遠鏡である、仙台市天文台の1.3m「ひとみ望遠鏡」を用いて行います。

7/25 参加受付開始 (応募〆切 10/13)

募集人数：12名 対象：高校生(高専生の場合は3年生まで)

開催期間となる12/23~29(6泊7日)全日程参加できる方。過去「もし天」に参加された方も応募可能ですが、応募多数の場合は未参加者優先になります、ご了承ください。



● 参加費用：7,000 ~ 9,000円程度 (期間中の食費・交通費は実費負担)

詳しい日程や応募方法などは、もし天ホームページをご覧ください。

<https://www.astr.tohoku.ac.jp/MosiTen> ホームページに応募フォームがあります。よくお読みになりご応募ください。

お問い合わせ：東北大学学際科学フロンティア研究所・東北大学理学部天文学専攻 津村耕司 022-795-6608 tsumura@astr.tohoku.ac.jp

もしもキミが、
杜の都で
天文学者にな
ったら。

「もしも君が杜の都で天文学者になったら」のご案内

(通称：もし天)

「もし天」は、東北大学・宮城教育大学・仙台市天文台が共同で開催する「**高校生を対象とした合宿形式**」の天文学者体験講座です。今年で7回目の開催となり、全国の科学や宇宙に興味のある高校生に広く認知されつつある事業です。

「もし天」では、全国から“宇宙好きの高校生”が集い、1週間の合宿の中で実際に天文学の研究を行います。普段の学校での授業とは異なり、班ごとに議論を進めながら**自分たちで研究テーマを設定し、データを取得し、それを解析し結論を導き出す**という、研究の過程を体験します。天体観測は、仙台市天文台が誇る1.3m「ひとみ望遠鏡」を参加者自ら操作しながら行います。そうして得られた研究成果は、最終日に市民の皆さまの前で発表し、また、希望者は日本天文学会ジュニアセッション（千葉大学で開催）で発表することができます。

期間中は、各班に教員や学生がつきサポートしますので、天文学の知識がなくても宇宙に興味のある高校生ならどなたでも参加できます。

ご質問などがありましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

問い合わせ先



022-795-6608



tsumura@astr.tohoku.ac.jp

津村 耕司 助教

東北大学 学際科学フロンティア研究所

東北大学 理学研究科天文学専攻

もし天 開催期間中の スケジュール



- 初日（12/23・会場：仙台市天文台）
 - ▶ 班ごとに研究テーマを決定
 - ▶ 仙台市天文台「ひとみ望遠鏡」見学、操作説明
- 2～3日目（12/24～25・会場：東北大学、仙台市天文台）
 - ▶ 班ごとに研究計画書作成
 - ▶ 研究計画書審査会
 - ▶ 審査会に通過した班から、天文観測
- 4～6日目（12/26～28・会場：東北大学）
 - ▶ 得られたデータを解析し研究を進める
 - ▶ 最終日に向け発表練習
- 最終日（12/29・会場：東北大学）
 - ▶ 研究成果報告会（一般公開）
- 2018年3月（会場：千葉大学）※希望者のみ
 - ▶ 日本天文学会ジュニアセッション開催

